

令和5年（2023年）10月10日（火） 13時30分 配付

項目	令和5年秋の輸送繁忙期の交通安全運動の実施について
配付資料	令和5年秋の輸送繁忙期の交通安全運動実施要綱
内容及び報道に当たったのお願い	<p>1 目的 この季節は、各種産業活動の追い込み期となり、貨物輸送車等の増加とともに交通量が増え、また、夕暮れが早まり歩行者等の薄暮時や夜間における事故の多発が懸念されるところです。 この運動では、交通安全を自らのことと捉え、交通ルールの遵守や思いやりのある交通マナーの実践が主体的に行われるよう、住民一人ひとりの交通安全意識の高揚を図ることを目的としています。</p> <p>2 期間 令和5年(2023年)10月15日（日）から 令和5年(2023年)10月24日（火）まで</p> <p>3 運動の重点 ○過労・過積載・過密な運転の防止 ○スピードの出し過ぎなどの危険運転の防止 ○高齢者の交通事故防止・夜光反射材の普及 ○夕暮れ時と夜間の歩行者・自転車の交通事故防止 ○飲酒運転の根絶</p> <p>4 総合振興局における取組 ○交通安全車による巡回広報</p> <p>5 注意事項 各市町村における取組みについては、各市町村交通安全担当にご確認ください。</p>
他のクラブとの関係	
担当窓口	<p>オホーツク総合振興局保健環境部環境生活課 課長 矢嶋 裕一 直通 0152-41-0626 内線 2950</p> 

令和5年

秋の輸送繁忙期の交通安全運動

10月15日(日)～10月24日(火)

北海道オホーツク総合振興局管内実施要綱

スローガン

ストップ・ザ・交通事故

《めざせ 安全で安心な北海道》

運動の重点

- 過労・過積載・過密な運転の防止
- スピードの出し過ぎなど危険運転の防止
- 高齢者の交通事故防止・夜光反射材の普及
- 夕暮れ時と夜間の歩行者・自転車の交通事故防止
- 飲酒運転の根絶

運動の目的

この季節は、各種産業活動の追い込み期となり、貨物輸送の増加とともに、交通量が増え、また、日没が早まり、夕暮れ時と夜間における歩行者等の事故の多発が懸念される。

交通安全を自らのことと捉え、交通ルールの遵守や思いやりのある交通マナーの実践が主体的に行われるよう、住民一人ひとりの交通安全意識の高揚を図る。

運動の進め方

市町村・関係機関・団体等が緊密に連携し、それぞれの創意工夫を凝らした取り組みを行うものとし、その実情に即した具体的な計画を策定するとともに、運動の重点を軸に各種交通安全活動等を積極的に推進する。

主催

北海道オホーツク総合振興局・オホーツク地区交通安全推進協議会・北見市・網走市・紋別市・美幌町・津別町・斜里町・清里町・小清水町・訓子府町・置戸町・佐呂間町・遠軽町・湧別町・滝上町・興部町・西興部村・雄武町・大空町・(一財)北見方面交通安全協会

居眠り運転防止～2時間毎に休憩しよう。

デイ・ライト運動を実践しよう。

運 動 の 重 点

過労・過積載・過密な運転の防止

運転者は

長距離運転では、ゆとりある計画を立て、疲れたときには早めに休憩を取ろう。また、過積載になっていないか確認しよう。

職場では①

過労・過積載・過密な運転の防止のため、ゆとりのある運行計画のもとに、安全運転を実践しよう。

職場では②

交通安全意識の高揚と交通安全を呼びかけるため、デイ・ライト(昼間点灯)の浸透・定着の促進に努めよう。

地域では

主要な幹線道路などで、啓発活動を実施し、事故防止を呼びかけよう。

スピードの出し過ぎなど危険運転の防止

運転者は

時間にゆとりをもち、スピードダウンで安全運転を実践しよう。

家庭では

「ながらスマホ」など危険運転を見つけたらみんなで注意しよう。

職場では

スピードダウンによる安全運転と環境に配慮したエコドライブ運動の励行を徹底しよう。

地域では

運転者が油断をしないよう、日頃から交通ルールを守った安全運転を啓発しよう。

高齢者の交通事故防止・夜光反射材の普及

運転者は

高齢者を見かけたら、徐行するなど思いやりのある運転をしよう。

家庭では

高齢者が外出する時は、明るい服装や夜光反射材を着用し、車に注意して、安全確認をしっかり行うように声をかけよう。

高齢者は

自分の身体能力の変化を認識し、安全な行動を心がけるとともに、夜間は明るい服装や夜光反射材を身に付けよう。

地域では

夜光反射材の活用を積極的に推進しよう。また、高齢者を見かけたら交通安全の一声をかけるとともに、安全な横断を手助けしよう。

夕暮れ時と夜間の歩行者・自転車の交通事故防止

運転者は

夕暮れ時から夜間には、歩行者などの発見がしにくくなるので、早めの点灯や交差点では徐行し、しっかり安全確認しよう。

家庭では

夕暮れ時や夜間に外出する時は、明るい服装と夜光反射材を着用するように声をかけよう。

職場では

早め点灯や交差点での徐行による安全確認等の実践を徹底しよう。

地域では

明るい服装の着用や夜光反射材の普及と着用の促進に努めよう。

学校では

自転車の通行方法や夜間における前照灯の点灯など、自転車の正しい利用の仕方を身につさせよう。

飲酒運転の根絶

運転者は

飲酒運転は悪質な犯罪であるとの認識をしっかりと持ち、二日酔い運転を含めた飲酒運転の根絶を図ろう。

家庭では

飲酒運転の悪質性や交通事故の悲惨な結果を話し合い、家族ぐるみで飲酒運転の根絶を目指そう。

職場では

企業の責任として、ハンドルキーパー運動を展開するなど、飲酒運転の根絶を図ろう。

地域では

酒類を提供する飲食店等では飲酒運転の危険性や悪質性を呼びかけ、飲酒運転の根絶を図ろう。